

# 一般質問

氏名	質問の要旨
氏名	質問の要旨
箴島かおる	1 大川市の防災対策について
古賀光子	1 防災対策の強化について
池末秀夫	1 災害時における防災施設について 2 安心・安全なまちづくりをめざして
内藤栄治	1 大川樟風高等学校と中学校の連携について 2 インテリア産業の振興について
石橋忠敏	1 大川市の水道管耐震化問題について
永島守	1 我が国の国防意識と憲法9条について 2 東日本の大震災に対する大川市の支援等について 3 古賀政男記念館南側市有地の今後の利用について
古賀龍彦	1 東日本大震災に関する復興支援の取り組みについて



大川市の  
防災対策について  
箴島かおる 議員

**問** 本市地域防災計画は平成22年度に全面改訂されたが、その重点課題は何か。

**答** 従前の防災計画では、国・県・市等の「公助」による災害対策が中心だったが、災害時の被害を最小限に抑えるためには、住民みずからが災害から身を守る「自助」、地域社会がお互いを守る「共助」の部分で災害対応力を高め、「公助」と連携することが重要である。

**問** 本市から直線で約60kmの地点に玄海原子力発電所があるが、放射能対策については、防災計画に想定してあるのか。

**答** 原子力発電所の放射能対策については盛り込んでいないが、国・県の防災計画を踏まえたうえで、大川市の地域特性を加味して計画を立てることが一番重要である。

**問** 原子力発電の必要性について、市長の見解を伺いたい。

**答** 日本の電力の約4割が原子力発電で賄われている。これを直ちに太陽光などの再生可能エネルギーによる発電で対応することは現実的にできない。電気事業者や国に更なる原子力発電所の安全性を高めてもらい、そのうえで地元自治体の同意を得て発電を再開していくのが現実的な対応ではないかと考える。



防災対策の強化について  
古賀 光子 議員

**問** 市民に対して情報や災害に対する考え方などの確に伝えるための体制についてはどのようになされているのか、また、節電対策についてどのように受け止め、市として努力されているか、伺いたい。

**答** 市民に情報を伝えるための体制については、平成21年度から3年計画でコミュニティ無線設備を各コミュニティセンター及び公民館等に順次整備しており、各行政区の公民館等に1カ所ずつは整備する予定である。

災害時には、市役所、消防本部からの避難情報をこれにより一斉に放送するとともに、消防本部や消防団、市の広報車による避難情報の伝達も行う予定である。また、コミュニティ無線については、整備が終了した後、避難訓練等にも活用したい。

節電については、市として6月1日に節電・省エネ推進委員会を発足させ、市内公共施設における電力使用量の15%削減を目指し、これまで以上に節電に取り組んでいる。

節電、省エネについては今後も継続的に行うこととしており、市民の皆様へも市報等を通じて、家庭でできる節電、省エネ対策をお願いしていきたい。